

**経営改善支援の第1歩は
インフラコストの適正化**

ワンストップコスト削減サービス

**無料診断シートでコンサルティング
「企業負担ゼロ」 「一部成功報酬型」**

利益を創る購買設計をご案内致します

「お問合せ先」 Office SUGIYAMA グループ



〒880-0211

宮崎県宮崎市佐土原町下田島20034番地

電話：0985-36-1418

E-mail：info@office-sugiyama.jp

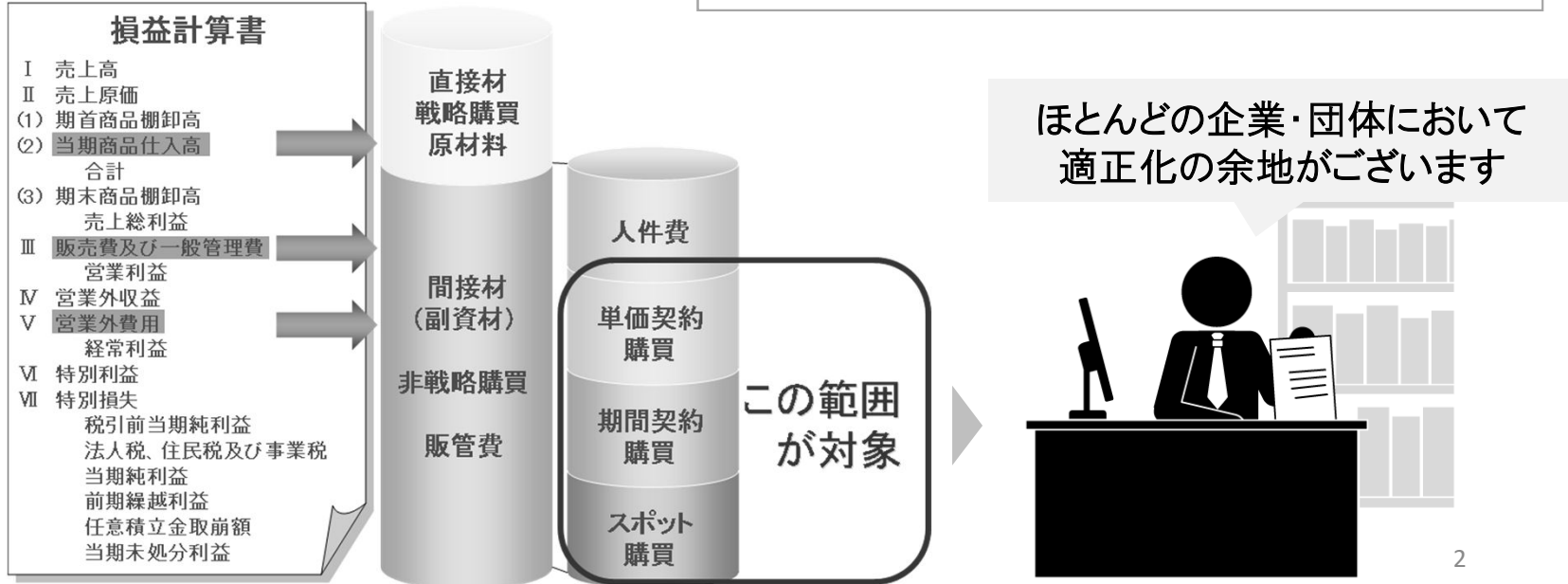
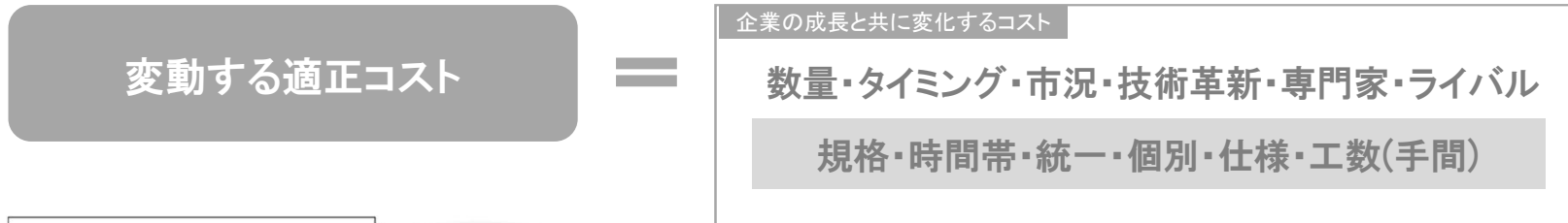
はじめに

間接費用は、同業種・同売上規模の企業であっても、同じサプライヤーから供給でありながら、「販売価格は2倍離れている」という事はよく目の当たりになります。その背景としまして下記の事が考えられます。

企業は成長と共に様々な購買を実施していった一方、価格が過去のままの状態だったりします。同時にサプライヤー側も技術革新や市況の変化で価格が変動しており、その需要と供給のミスマッチは常に起こっており、適正水準も常に変動せざる得ない状況が発生しております。

また企業は自社のサービスの購買・調達には専門部署があり、そこで適正な水準を持ち調達を実施しております。一方、間接材においては派生する費用として計上しており、特に専門部署があるわけではないので、どうしても適正化基準が見えなくなってしまうがちです。そのため上場企業10業種、上位50社の有価証券報告書においても、人件費と比較して間接費が1.4倍も高い水準となっております。

弊社は間接材調達の適正水準を作るために、間接材のサプライヤー100社以上と提携し、企業・団体様の購買コストの適正化のコンサルティングを実施しております。



何ができるか？



間接材の調達には、調査・比較・検討・確認などといった手間が掛かります。その工数を弊社が代行し、同じようなサービス提供で利益が創出できる購買をご案内致します。

切替削減

サプライヤーを変えるだけで削減

61項目

無料

コスト削減会社のサプライヤーを一挙公開!!契約を切替をして頂ければ費用は0円にてご案内が出来ます。

*ご案内価格を基に既存業者に交渉する場合は成功報酬30%を頂きます。

機器導入削減

コスト削減に直結する機器を導入し削減

5項目

コンサルティング削減 16項目

成功報酬にてコンサルティングを実施し削減

科目分野

OA・通信
光熱費
輸送・交通費

保険
保守・修繕
消耗品

外注
賃料
社会保険

施設・管理費

削減方法

共同購買・相対プラン・特許技術・
システム導入・リバースオークション・専門家

削減額

1社につき

年間数十万円～数千万円

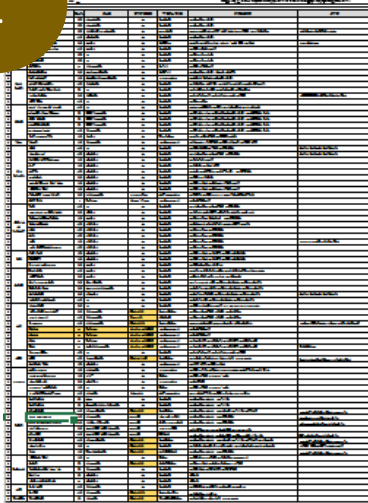
他社との違い

削減会社と商社機能のハイブリットモデルを組んでおり、顧客のニーズに合わせた臨機応変な対応が可能です。

	弊社	削減他社	商社
削減効果	○	○	×
アイテム数	○	×	×
手数料	○	△	○
手間	○	○	△
サポート	○	○	△
費用	○	△	○

使い方

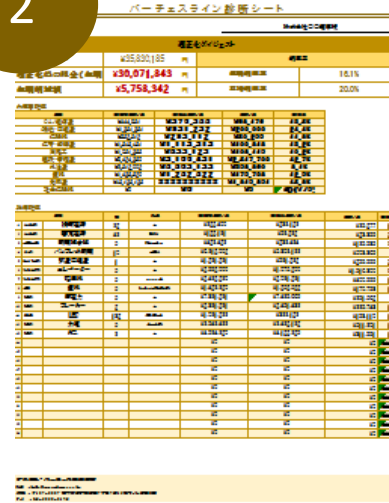
1



条件合えば試算

気になるコスト項目で条件が合えば、まずは無料診断を実施して頂き、診断レポートを確認して頂いてからご判断を頂く形で進めます。

2



診断レポートで判断

診断レポートで削減額を確認して頂き、金額と工数が合うのであれば、ご契約を締結させていただきます。そこから各実施事項に対する細かい説明や、各サプライヤーの情報を開示します。

3



要件定義&削減実施

再度要件定義を明確にしてから削減を実施していきます。

期間:1ヶ月~6カ月

実績

多店舗展開

店舗	本部	削減平均
賃料10%	複合機30%	5000万円以上 (年間)
光熱費8%	固定電話35%	
物流費10%	社会保険料8%	
マニュアル30%	高速道路料金20%	
.....	

オフィス系 営業会社・金融・IT・マスコミ

複合機35%
固定電話40%

社会保険料8%
WEB広告費15%
冊子・パンフレット10%
.....

削減平均
500万円以上
(年間)

施設展開 病院・介護・学校
レジャー・ゴルフ関連

施設	本部	削減平均
光熱費5%	複合機30%	5000万円以上 (年間)
エレベーター40%	固定電話30%	
損保20%	社会保険料8%	
複合機30%	高速道路料金20%	
.....	

運送・海外貿易

為替35%
高速道路20%

損保20%
物流15%
複合機30%
.....

削減平均
4000万円以上
(年間)

製造メーカー

光熱費35%
複合機40%

高速道路8%
損保20%
廃棄料20%
.....

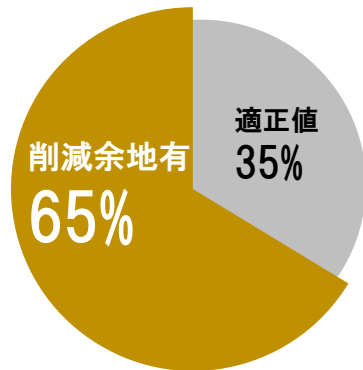
削減平均
1000万円以上
(年間)

建設・不動産

複合機35%
固定電話40%

社会保険料8%
WEB広告費15%
高速道路20%
.....

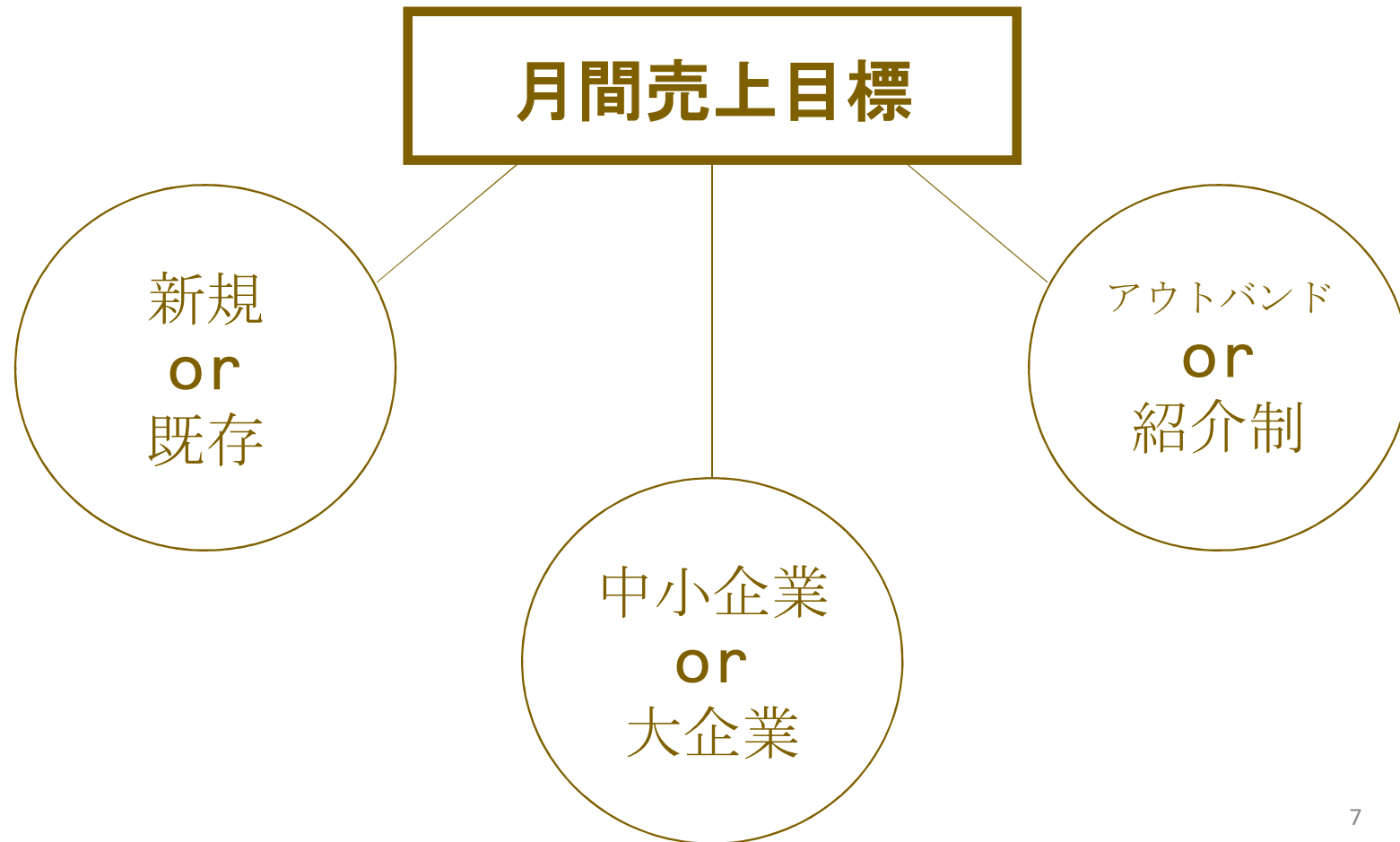
削減平均
1000万円以上
(年間)



- × 適正化出来ないケース**
- × 最近契約を切替えたばかり → 次回の更新月に実施
 - × 数が多いが使用量が少ない → 量の変動と技術革新による適正化が図れる場合に実施
 - × サプライヤー様と相対でお取りをしている場合 → 取組が難しい場合がございます
 - × ご担当者の方が進めたくない場合 → チーム編成をして推進

ターゲットに合わせた設計

御社のターゲットに合わせた個別設計



会社のステージ沿った最適な購買サービス～



御社の「購買の適正水準」を構築します

*担当が1名以上付きます

購買単価は「市況」「数」「タイミング」「競争」で変動しますので、適正水準を常に見直していく事が重要です。



主な適正化領域と概要

*既存70項目ございます。

①項目の選択 & 無料診断

OA・通信	消耗品
光熱費	外注
輸送・交通費	賃料
保険	社会保険
保守・修繕	施設・管理費

②簡易レポート



③ご契約 & 適正化



④診断レポート

パートナーインベストメント

項目	現状	目標	改善率
総額	10,000,000	8,000,000	20%
削減率	10%	20%	10%
削減額	1,000,000	2,000,000	1,000,000



イニシャルコスト無。契約切替の場合「0円」でご利用可能

FREE

無料0円

*適正化診断を実施し、弊社既存サプライヤーにご契約の切替えた場合
*専門家によるコンサルティング業務は除く



新規サプライヤーに切替えた際の満足度90%

満足できない理由

・使い勝手
・担当者
・サポート



「16の要件定義」で不満足解消に近づけます

現状の要件を明確にする事で新規のサプライヤーに切り替えても支障が出にくい状態を構築します。

OR



お客様既存サプライヤーにて適正化を図る場合「成功報酬30%」

*弊社で計上した価格を基に既存のサプライヤーを含め削減を実施した場合